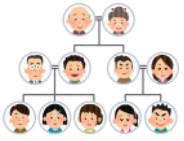


ネットコア通信



家系図作成のススメ



皆さんは、自分の家の「家系図」見たことがありますか？家系図なんて「しっかりしたお家柄の方が作るもの」というイメージがあるかもしれませんが、でも、どの家にも必ず過去から名字や血統を引き継いできた人たちが存在します。その「家系」を図に表したものが家系図なので、すべての家にあっているものです。

実は今年、とある研修の一環として自分で家系図を作る機会がありました（右下の写真）。ちょっと手間はかかりますが専門的なスキルは基本的に不要で、とても良い気付きがありました。きちんとした家系図を作りたい場合は専門の業者に依頼することもできますが、今回は手軽に自分でできる方法を、私の経験をもとにご紹介しようと思います。

いしましたが、そうでない方は両親や親戚に聞いてみる等してみましょう。私は、この方法で父方も母方も5代前まで調べることができました（自分を1代と数える）。



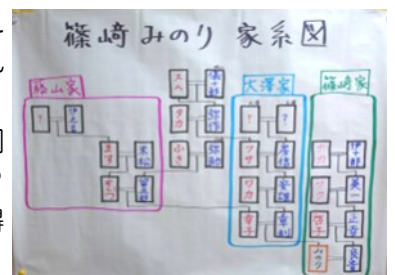
代表取締役
篠崎 みのり

私は家系図を作ったことで、自分が今存在していることは当たり前ではない、ということをしみじみと感じることができました。自分には両親がいて、その両親にもそれぞれ両親がいて、またその両親にも両親がいて…と遡っていくと、10代で1,024人。20代で104万8576人。30代では、何と10億7374万1824人！これだけの人数の中で、たったひとりでも欠けていたら今はないと思うと、感謝と奇跡を感じずにはいられません。

さらに副次的な効果として、両親と、ご先祖様や両親の幼い頃について話をするきっかけができたことが挙げられます。私は、生まれたときには既に祖父が二人ともおらず、今回初めて名前を知ることができました。そんな話をすると、両親から関連するエピソードやその人となりについて聞くことができたり、思いがけない発見があったりしました。普段とはちょっと違う、親子間コミュニケーションの良い材料です。

また同じ時期に、ご先祖様の供養とは具体的に何をすればいいか、教えていただく機会がありました。曰く、家系図を作るのはとても良いそうです。そしてその作業をしながら、まぎれもなくその人が存在していたのだと思いを馳せること。一緒に時代を生きていないから、どんな人でどんな人生を送ったのか分からないのは当然だけれど、それを想像するだけでもいいのだと教えていただきました。先祖供養というと、私は墓参り、読経、仏壇で拝むくらいしか思いつきませんでしたが、思うだけでもご先祖様が喜ぶのだと聞くとハードルが下がりますよね。（※宗教や宗派によって考え方は様々だと思います。あくまで1つの考え方と捉えていただければ…。）

皆さんもぜひ、家系図を作ってみませんか？きっと新たな気付きを得られるはずです！



1. 自分の住民票を取得する

まずは、自分の本籍地を確認するため、住民票を取得します。必ずしも現在住んでいる場所や実家が本籍地になっていないわけではないので、実は知らない方もいるかもしれません。（結婚前の私がそうでした。）※もし既に分かっていたらこのステップは不要です。

2. 市町村役場の窓口で、戸籍謄本の交付申請をする

窓口においてある申請書に必要な事項（ここで本籍地住所が必要）を記入の上、担当の方に「父方／母方の戸籍を遡るだけ遡って戸籍を取りたい」旨を伝えます。基本的に、直系の親族のもののみ取得できます。また、現在戸籍は電子化されているため、他都道府県のものも郵送ではなく窓口で受け取れます。窓口では、①父方②母方③その両方の、どの方向に遡るか確認されますので、予め範囲を決めておきましょう。

※手元に届くまでに時間がかかると思います。私の場合は2週間くらいかかりました。

※古い戸籍は保存期間を過ぎると消されてしまうため、取得するなら一日でも早い方がいい、と有識者からアドバイスをいただきました。

3. 手元に届いたら、ひたすら読み解く！

届いた戸籍の、続柄を見ながら親子関係をひたすら読み解いていきます。最新のものは見慣れたフォント（パソコンで打ち込まれたもの）なので読みやすいのですが、過去のもの（昭和以前）はすべて手書き。筆で書かれたもの、達筆すぎるもの、そもそも文字が分からないもの（変体仮名等）…、色々あります。私の場合は家系図作りをレクチャーしてくれる方が身近に

人材流動化時代に用意すべき

無理のない退職金制度とは？

ポイント制退職金制度をいれるべき理由

Webセミナーのご案内



現代の労働市場は急速に変化しており、従業員の流動性が高まる中で、企業は従業員の定着と満足度を高めるために新たな退職金制度を模索しています。

本セミナーでは、そうした課題に焦点を当てつつ、どのような退職金制度の導入が企業にとって適切か、その理由を掘り下げていきます。

前半では、社労士より、今後採用すべきポイント制退職金制度の制度解説と、導入・運用のポイントを解説いたします。

後半では、ポイント制導入後の負担を最小限に抑えるための、奉行クラウド活用方法をご紹介します。

持続可能で柔軟性のある退職金制度を構築するための第一歩として、ぜひ本セミナーにご参加ください。

開催日時 全日程同内容となります。

9月19日(金) 10月24日(金)
11月14日(金) 1月23日(金)

【A-1】10:00-11:15 【A-2】13:30-14:45

講師



社会保険労務士法人みらいパートナーズ
社会保険労務士 上村 尚史 氏

株式会社オービックビジネスコンサルタント

セミナー詳細・申込

右記QRコードより
お申し込みください



※全日程Webでの
開催になります

参加費 無料

株式会社オービックビジネスコンサルタント

お問い合わせ: OBC ウェビナー担当グループ <OBC_Webinar@obc.co.jp>

株式会社ネットコア

お問い合わせ: カスタマーサービス課 TEL: 028-649-0111

Windows10のサポート終了が 迫っています

お使いのPCがWindows10のままになっていませんか？

マイクロソフト社は、2025年10月14日をもって、Windows10の公式サポートを終了すると発表しています。
これ以降、セキュリティ更新プログラムなどの提供はなくなり、ウイルス感染や情報漏えいのリスクが高まる可能性があります。

準備しておくべきこと

- ① 現在使用中のPCのOSバージョンを確認
- ② Windows11へのアップグレードが可能かチェック
- ③ 古いPCの場合は、買い替えも検討を！

移行に不安がある方へ

ネットコアでは、PCの選定からデータ移行、プリンタ設定などを一括してサポートいたします。

「何から始めたらいいかわからない…」という方も、まずはお気軽にご相談ください！

カスタマーサービス課 地齋 輝昭

Net-Core の中の人紹介

「ITエンジニアってPCのことなんでもわかる理系の人なんですよ、よくわからないけど。」私も入社するまでそう思っていました。ネットコアの中の人こんな人たち。今期中堅メンバーのご紹介です。

システム技術部 太田 諒

Q：システム開発を目指したきっかけ、また実際に仕事してみてもイメージと違ったことはありますか？

A：当初は「一人黙々と、静かにコードと向き合う」というイメージを抱いていましたが、実際に働いてみるとそのイメージは一変し、チームでの報連相や情報・知識共有など、円滑な仕事には多くのコミュニケーションが不可欠で、想像以上に人との関わりが多い仕事だと感じました。

Q：これまでに自分のためになった経験や体験をおしえてください。

A：特定の趣味や読書に深く打ち込むことはあまりないのですが、今の仕事をこれまで続けてこられた経験は、私にとって本当に大切なものだと感じています。正直なところ、入社したばかりの頃は「私には合わないのかもしれない」と感じて、辞めてしまおうかと考えたこともありましたが、「とりあえず、もう少し頑張ってみようかな」という気持ちで続けてみたことで少しずつ仕事も覚えて、スムーズに進められるようになりました。この過程を通して、何かを続けることの大切さと、そこから得られる自分の成長を実感できたように思います。



エンジニアからのオススメ♪

おすすめのショートカットキー：

【Windows】キー＋【L】キー です。画面をロックできるので、離席する時は必ず使うようにしています。

おすすめのExcel関数：IF関数

セルの値によって処理を分岐させることができます。単純な関数ですが、使いどころはたくさんあると思います。

今月号の内容

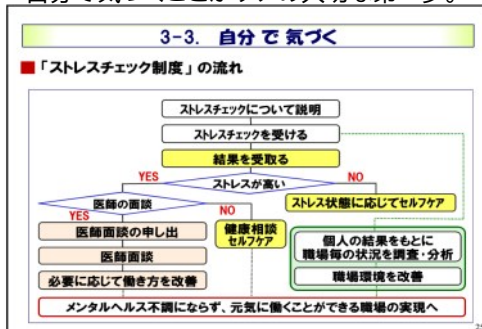
- 家系図作成のススメ
- 人材流動化時代に用意すべき無理のない退職金制度とは Webセミナーのご案内（OBC）
- Windows10のサポート終了が迫っています カスタマーサービス課
- ネットコアの中の人紹介
- 心と体の健康委員会活動報告

心と体の健康委員会活動報告

心と体の健康委員会では、職場における心と体の健康づくりのため、社員の健康保持・増進活動を推進しています。

今期は、運動促進を目的としたエアロビクスの開催、外部講師を招いてのメンタルヘルスについての研修実施などの活動を行ってきました。

メンタルヘルス研修時の資料。まずは自分で気づくことがケアの大切な第一歩。



エアロビクス講師経験者である弊社SE谷崎の指導。普段座りっぱなしの仕事なので、みんな積極的に参加して運動しています。

今年2月には、とちぎ健康の森のエアロビクススタジオを借りて、リズミカルな音楽に合わせて身体を動かすエアロビクスを行いました。

最初は軽い運動から始まり、激しい動きが次第に増えてくると、参加した社員の息が上がっていく様子が見られました。続けている間に疲労が溜まってきても、音楽にのって体を動かすことで気分がリフレッシュされるため、楽しみながら運動することができました。終了直後は疲れからその場に座り込む社員もいましたが、最後までやりきったことで達成感を得ることができたようです。

一朝一夕で心身の健康は作られませんが、委員会の活動をきっかけに社員みなさんの意識が高まり健康で充実した毎日が維持できるよう、今後も計画・活動していきます！

心と体の健康委員会 大房朋広

編集後記

今号のネットコア通信発行日9月1日は防災の日です。制定の元となった関東大震災は総人口6400万人中10万5千人の死者行方不明者を出しました。現代で首都直下型地震が起こった場合の令和4年東京消防庁の予測では死者6148人、帰宅困難者は453万人。また、地震台風に限らず、現在では連日の高温、線状降水帯の発生などの自然災害も身近に迫ってきています。不安な条件はたくさんありますが、情報取得や備蓄などの事前準備で自分で行える防災減災をするしかありません。日々の健康維持に加え、いつかの備えも地続きで取り組みましょう。

発行 株式会社ネットコア

編集 吉田 裕子

住所 栃木県宇都宮市鶴田2-5-24クレインズ21 1F-A
(〒320-0857)

TEL 028-649-0111 FAX 028-649-0303

URL <https://www.netcore.co.jp>

E-mail netcore@netcore.co.jp